



平成 22 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社東日本銀行
 代 表 者 名 取締役頭取 鏡味 徳房
 (コード番号 8536 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 経営企画部長 本田 修
 (TEL . 03 - 3273 - 4073)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期の有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、回復する見込みがあると認められないものについて、平成 23 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

記

1 . 平成 23 年 3 月期第 2 四半期における有価証券評価損

	単体	連結
(A)平成 23 年 3 月期第 2 四半期会計期間(平成 22 年 7 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日まで)の有価証券評価損の総額(=イ - ロ)	1,613 百万円	1,613 百万円
(イ)平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日まで)の有価証券評価損の総額	2,082 百万円	2,082 百万円
(ロ)直前四半期(平成 23 年 3 月期第 1 四半期)累計期間(平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 6 月 30 日まで)の有価証券評価損の総額	468 百万円	468 百万円

平成 23 年 3 月期第 2 四半期の有価証券評価損は、時価が 30%以上下落した銘柄のうち、回復可能性がないと判断したものについて減損処理を行っています。四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しているため、平成 23 年 3 月期末においては、有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。当行の決算期末は、3 月 31 日です。

純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B) 平成 22 年 3 月期末の純資産額	105,447 百万円	105,124 百万円
(A / B × 100)	1.5%	1.5%
(イ / B × 100)	2.0%	2.0%
(C) 平成 22 年 3 月期の経常利益額	8,431 百万円	8,443 百万円
(A / C × 100)	19.1%	19.1%
(イ / C × 100)	24.7%	24.7%
(D) 平成 22 年 3 月期の当期純利益額	4,632 百万円	4,611 百万円
(A / D × 100)	34.8%	35.0%
(イ / D × 100)	44.9%	45.2%

2 . 今後の見通し

減損処理による有価証券評価損を計上する一方、与信費用が当初予想を下回る見込みとなったほか、国債等債券損益の増加により、平成 22 年 5 月 14 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間および平成 23 年 3 月期通期の業績予想に変更はありません。

以上